

7日(土)	第7回ラン&ウォーク in 福生
14日(土)・15日(日)	だれでもなんでも展
28日(土)～11月18日(土)	福生市民文化祭
～11月26日(日)	郷土資料室特別展示「福生むかし絵II」

福生第二中学校吹奏楽部が、第57回東京都中学校吹奏楽コンクールにおいて金賞を受賞し、上位大会出場を決めました。



今号の主な記事

2面第29回インターナショナルフェア 3面くるみる ふっさガイドツアー 4面熊川分水を「景観重要資源第1号」に指定しました  
5面ふれあいフェスティバル開催! 6面ファミリー・サポート・センター講習会を開催 8面第47回福生市民文化祭が開催されます!

## 総合防災訓練に参加しましょう

**【日時】 10月22日(日)午前9時～正午ごろ**

訓練開始のときに緊急地震速報の試験放送とサイレンを鳴らします。また、緊急速報メールを配信します。

※雨天中止（中止の場合は、当日の朝に防災行政無線でお知らせします。）

※当日が衆議院議員選挙の投開票日になる場合は、中止となります。

【問合せ】安全安心まちづくり課防災係 ☎ 551・1638

### 【今年の主な訓練内容】

#### ①メイン会場（第一小学校）

起震車による地震体験、煙体験、国土交通省による降雨体験、NTT 災害伝言ダイヤル体験や、自衛隊による炊き出しなど、各関係機関による展示や災害時における活動の実演を行います。

#### ②各会場

自主防災組織が中心となり、集団避難訓練、避難所開設訓練、AED 取扱訓練、消火栓スタンドパイプによる応急

給水・初期消火訓練、簡易更衣室用テント組立訓練、軽可搬ポンプ訓練などを行います。

#### ③福祉センター

災害時において重要な役割を担う「災害ボランティアセンター」の開設訓練を、社会福祉協議会が行います。

#### ④防災教育センター

災害時における応急給食訓練として、センターで作成したおにぎりを、メイン会場へ搬送します。

### 市民の皆さん

は、午前9時のサイレンと同時に、ご自宅等でシェイクアウトを行ってください。その後、ガスの元栓や電気のブレーカーなどの確認をして、午前10時ごろまでに各訓練会場にお集まりください。

#### 【シェイクアウトとは】

「姿勢を低く」「頭を守る」「動かない」という身を守る基本的な行動です。

▼各訓練会場は右表のとおりです。ご自分の自主防災組織（町会・自治会）の会場に参加してください。

町会・自治会への加入を問わず、その地域にお住まいの方全員を対象としていますので、お気軽に防災の活動へご参加ください。

訓練会場	対象地区名等
第一小学校 (5地区+ 在籍児童)	本町第一
	本町
	本町中央
	本町第六
	本町第七 在籍児童
第二小学校 (4地区)	武蔵野
	福東
第三小学校 (4地区)	鍋ヶ谷戸第一
	鍋ヶ谷戸第二
第四小学校 (3地区)	牛浜第一
	牛浜第二
第五小学校 (4地区)	原ヶ谷戸
	志茂第二
	永田
第六小学校 (3地区)	長沢
	加美
第七小学校 (2地区)	熊川住宅
	南
第一中学校 (4地区)	内出
	南田園一丁目
第二中学校 (1地区)	本町第八第一
	本町第八第二
第三中学校 (2地区)	武蔵野台一丁目
	南田園三丁目
第一中学校 (4地区)	志茂第一
	玉川台
第二中学校 (1地区)	富士見台
	福栄
第三中学校 (2地区)	熊川牛浜
	加美平住宅
第一中学校 (4地区)	福生団地
	南田園二丁目

#### 【自主防災組織とは】

福生市ではあらかじめ市内全体を32の地域に分けて、それぞれの地域で普段から災害に対する備えを進めています。これを自主防災組織といい、それぞれ地元の町会・自治会を中心としたさまざまな団体が協力して防災・減災に取り組んでいます。

#### 【災害ボランティアセンターとは】

実際に災害が発生した際は、市内・市外を問わず、多くのボランティアが集まります。その際には必ず「災害ボランティアセンター」を通してボランティアの受け入れを行い、活動についての取りまとめを行います。

今号の広報ふっさには、「Jアラートが鳴ったときの行動について」の記事を掲載しました。皆さんの安全と安心に役立てていただきたいと思います。ぜひ皆さんで、情報を共有してください。

福生市ではミサイル発射に対する抗議声明を発表し、抗議文を送付しました。自分の利益のために山を登り続けているのは、本当の豊かさにはたどり着けません。世界中の人がそれぞれの立場で、平和のためにできることを実践していかねばならないと考えています。

8月29日、そして9月15日に日本の上空を通過した北朝鮮のミサイルは、先輩方が築き上げてきた平和を大いに脅かすものです。世界の恒久平和を願う人々の声を聞かず、気持ちを踏みこむ行為は、山の中で自分を見失っているかのような行為で、決して許されるものではありません。

スイスの心理学者ユングの言葉に「人生は山登りに似ている。登った限りは降りなければいけない。登りっぱなしのことを遭難したと言ふ」との名言があるそうです。

Jアラート

福生市長 加藤育男



敬老大会にて

### 全力投球

